

授業科目コード	2130800	授業科目名	地域観光論 I		担当教員名	中島智
対象学部・学科		分野区分	学年	単位数	学期	曜日・時限
現代社会学科		観光分野	2	2	後期	
ディプロマポリシー						
DP1-2 経済・経営、国際英語、観光、スポーツのいずれかの分野での専門的な知識を修得している。						
レベル2 専門分野の基礎概念を用いて、学んだ専門分野の内容を説明することができる。						
授業のテーマ						
本授業では、観光地域づくり（まちづくり）の考え方を基本において、持続可能な文化遺産経営（ヘリテージマネジメント）について理解を深めるとともに、古墳や遺跡を中心とした事例を取り上げ、観光開発との関連を学ぶ。世界文化遺産「百舌鳥・古市古墳群」を題材として、文化交流を促進し地域づくりに貢献する観光のあり方を考え、提案することを目指す。また、グループワークを行い、フィールドワーク（現地調査）に基づく口頭発表及びレポート課題に取り組むことによって、自分と異なる意見を理解し、協調しながら創造的に活動できるようになる。						
授業の到達目標						
到達目標1	・地域の現状を把握したうえで、観光地域づくりの課題を分析し、説明できる					
到達目標2	・持続可能な文化遺産経営（ヘリテージマネジメント）の考え方について説明できる					
到達目標3	・世界遺産条約と文化財保護法における文化遺産の理念や制度の特徴を説明できる					
到達目標4	・文化遺産と地域社会の関係性がどうあるべきかを具体的な事例に基づいて説明できる					
到達目標5	・文化遺産を活かした観光地域づくり（文化観光）の方向性について検討・提案する力を身につける					
受講上(授業外学習含む)の注意点						
(1) 授業外時間も含めて、レポートや発表に向けた課題を個人やグループで積極的にできる人に限ります (2) 課題作成・発表で使用するため、各自でUSBメモリを買って、授業にも持って来てください (3) フィールドワークでは原則、交通費が発生しますので、ご承知おき下さい						
*全15回のうち大半は「講義」ですが、授業外時間にフィールドワークを課しますので、それに向けたグループワークも実施します。聞くだけではなく参加型の授業であると理解してください。ただ教室にいればいいというのではなく、100%全力で参加することが求められます。						
関連科目						
【履修を済ませていることが必須の科目】						
【履修していること、履修することが望ましい科目】 「観光学入門」、「観光資源論」						
教科書・参考書など						
【教科書】 中島智・高柳直弥・片山明久編著『現代の観光を学ぶー地域創生に向けてー』八千代出版、2022年ISBN978-4-8429-1823-5						
【参考書】 松本茂章編著『ヘリテージマネジメント 地域を変える文化遺産の活かし方』学芸出版社、2022年 西村幸夫・本中眞編『世界文化遺産の思想』東京大学出版会、2017年 井口貢編『観光文化と地元学』古今書院、2011年 谷口知司編『観光ビジネス論』ミネルヴァ書房、2010年 恩田守雄著『〔第二版〕グローバル時代の地域づくり』学文社、2010年						
授業計画						
回数	項目	内容(予習復習指示などを含む)			使用資料	
1	オリエンテーション(1)	授業のねらい・ゴール・進め方・ルール of 共有(授業計画及び成績評価方法の説明、履修上の注意)、観光地域づくり(まちづくり)の考え方			初回授業時に指示する	
2	オリエンテーション(2)	授業のねらい・ゴール・進め方・ルール of 共有(授業計画及び成績評価方法の説明、履修上の注意)、観光地域づくり(まちづくり)の考え方				
3	ヘリテージマネジメントとは	ヘリテージマネジメントの考え方を学び、持続可能な文化遺産経営に向けて保護から活用への転換の動向について理解を深める				
4	世界遺産条約の概要と文化遺産の管理	「文化の多様性」の理念を把握したうえで、世界遺産制度を中心に概観し、日本の文化財制度にも触れつつ、文化遺産の管理について理解を深める				
5	文化観光(Cultural Tourism)の理念としくみ	ICOMOSにおける観光に対する考え方の変遷を認識した上で、文化遺産と観光との関係性について理解を深める				
6	文化遺産 日本の事例(1)	文化遺産の保全と活用について、三内丸山遺跡(特別史跡)の事例を取り上げる				
7	文化遺産 日本の事例(2)	文化遺産の保全と活用について、吉野ヶ里遺跡(特別史跡)〔吉野ヶ里歴史公園〕の事例を取り上げる				
8	歴史的建造物と地域の課題解決	歴史的建造物を地域の課題解決に活かす取組について理解を深める				
9	堺市の観光資源の把握	堺市の地域特性、観光資源の特徴を理解した上で、その現状と課題を考える				

授業科目コード	2130800	授業科目名	地域観光論 I		担当教員名	中島智
対象学部・学科		分野区分	学年	単位数	学期	曜日・時限
現代社会学科		観光分野	2	2	後期	
10	フィールドワークの準備	現地調査（堺市博物館、仁徳天皇陵古墳、大仙公園周辺、民間商業施設など）に向けた準備として調査項目を検討・整理する  復習「フィールドワークの実施」：現地においてグループごとに見学・調査する				
11	地域の記憶の伝承	伝統文化の価値に注目し、地域の記憶を未来に伝える取組について理解を深める  復習「フィールドワークの実施」：現地においてグループごとに見学・調査する				
12	フィールドワークの報告	現地調査の結果をふりかえり、実施報告書を作成する				
13	海外におけるヘリテージマネジメントの取り組み	ヘリテージマネジメントについて、海外の事例を取り上げる				
14	発表	堺市の世界遺産を活かした観光地域づくりについて発表を行い、受講生全員で議論する			受講生の作成したレポート及びパワーポイント資料	
15	まとめ	15回全体を総括し、今後の文化遺産を活かした地域づくり観光のあり方を展望する				
<b>成績評価基準</b>						
成績評価基準項目		内容等			評価割合	
発表（授業への積極的姿勢）レポート		授業内に調査結果の発表をパワーポイントを用いて行う 授業内容を参考に課題について調べ、理解を深めた上で、自分なりの意見や提言等をまとめる（1500字程度）。 *なお、当然のことながら、ウェブサイトからコピー&ペーストしたものや、文献から他人の文章・資料について出典を明示せずに記載したものは採点しません。			40% 60%	
特徴ある授業方法		グループワークを行い、フィールドワーク（現地調査）に基づく口頭発表及びレポート課題に取り組む。				
学生への連絡事項		本授業ではグループワークを行いますので、協調しながら積極的に活動する姿勢が求められます。自分の都合を優先させたい人は、受講を控えること。				